2025 年 12 月 2 日一部加筆修正（赤字）

2025 年 12 月吉日

2026 年度新入生・新入生ご家族の皆様へ

情報端末（ノートパソコン、タブレット端末）の必携について

静岡文化芸術大学

本学では、教育のＩＣＴ化を推進し、もって教育の質の向上を図るため、情報端末（ノートパソコン、タブレット端末）を必携としています。つきましては、以下のご案内をご確認頂き、入学前に情報端末をご用意頂きますよう、宜しくお願いいたします。

１　情報端末の必携によるメリット

〇授業の教育的効果および授業満足度の向上

本学では、高い教育的効果が得られるよう、学習管理システム（LMS/SUACmanaba）やMicrosoft365 をはじめとする様々なシステムを導入し、各科目の授業において活用しています。また、年間を通じて遠隔授業を開講しています。これらのシステムの使用や遠隔授業の受講のため、在学中、情報端末は欠かすことができません。

〇授業外学習の促進、自律的な学びができる環境の提供

情報端末は、授業の受講時のみならず、履修登録、授業前後の予習・復習、課題レポートの執筆、課題の制作等でも幅広く使用することになります。それらは、学内に設置された共用の情報端末等でも作業できますが、ご自身の情報端末を用いることで、場所を問わず、慣れた環境で、円滑に取り組むことができます。

〇学生の情報処理・情報活用能力の涵養

大学卒業後のキャリア形成において、情報の処理や活用する能力は大変重要なものとなります。大学生活の中で、情報端末やネットワークに日常的に触れていくことで、実社会で求められる能力を養うことができます。

２　情報端末のご用意について

（１）時期

情報端末は、授業のほか、ガイダンスや履修登録等においても使用する機会があります。情報端末は、可能な限り入学式の日（４月６日）までにご用意いただき、難しい場合には前期通常授業の開始日（４月 13 日）までにご用意ください。

（２）推奨する仕様

本学では、次頁以降のとおり学部毎に推奨する仕様を定めています。この仕様を満たす端末をご用意ください。なお、既に持参可能な情報端末（ノートパソコン、タブレット端末）を保有している場合、その端末が推奨仕様を満たしていなくても、そのままお使い頂いて構いません。ただし、情報端末によっては、ソフトウェアが動作しない、一部の授業が受講できない等、不都合が生じることがありますので、入学後、必要に応じて買い替えをご判断ください。

■情報端末の推奨仕様（文化政策学部）

文化政策学部では、「標準仕様」と「高機能仕様」の２段階で仕様を定めています。

「標準仕様」を満たす情報端末であれば、入学後４年間の文化政策学部の授業での学習が可能です。

「高機能仕様」を満たす情報端末については、より快適に作業したい場合、卒業後も情報端末を使用したい場合、あるいは、デザイン学部の授業の履修や課外活動等で高い処理能力が求められるソフトウェア（画像処理等）を自らの情報端末で使用したい場合にはこちらを選択してください。

なお、既に持参可能な情報端末（ノートパソコン、タブレット端末）を保有している場合、その端末が推奨仕様を満たしていなくても、そのままお使い頂いて構いません。

項目	標準仕様	高機能仕様
形状	物理キーボード（脱着式･分離式も可）を備え、持ち運びが容易であること	
OS	Windows11　MacOS14（Sonoma）以上、iPadOS17以上 ※①	
CPU	・Intel Core-i5 または CoreUltra 5 　または同等のAMD Ryzen5 ・Apple Slicon M 3	・Intel CoreUltra 5 　または同等のAMD Ryzen 5　以上 ・SnapDragon X plus　以上 ・Apple Slicon M3　以上
メモリ(RAM)	16GB	16GB以上
ストレージ※②	SSD 256GB以上	SSD 512GB以上
画面解像度	1920×1080（Full HD）以上	
無線LAN	Wi-Fi 6 以上に対応していること	
ﾊﾞｯﾃﾘｰ駆動	カタログスペックで8時間以上	
外部ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	HDMI出力端子を有すること（変換コネクタを使用しても可）※③ マイク･スピーカーが使用できること（外付け可、ヘッドセット等でも可） ウェブカメラが使用できること（外付け可）	
その他	Microsoft Officeは在学期間中は無償提供されますので購入の必要はありません。 光学ドライブ内蔵型は重量が重くなるため、必要な場合は外付けを推奨します。	

【留意事項】

※① macOS 及び iPadOS は在学中の OS サポート期間を考慮して macOS 26 (Tahoe)、iPadOS 26 へのアップグレードに対応可能なハードウェアを推奨します。

※② 読み込み速度等の性能や日々の持ち運びによる衝撃等が原因で HDD が損傷するリスクを避けるため、 HDD よりも SSD をおすすめします。

※③ HDMI 出力端子を有さない場合、変換コネクタを使用しても構いません。その場合、変換コネクタは必要になった段階で購入してください。

購入後のセットアップについて

ノートパソコンやタブレットを購入後に必ず一度起動し、初期不良（例：電源が入らない、ディスプレイが映らない、キーボードが反応しない等）が無いかをご確認ください。なお、新しく購入された場合には必ずセットアップ作業を行い、アカウント作成などの初期設定をして、PC を利用できる状態にしてください。

■情報端末の推奨仕様（デザイン学部）

デザイン学部では、個々の学生によって、必要となるスペックを判断できる時期に違いがあることから、まずは、現在保有しているPCもしくはタブレット端末がある場合にはそちらを使用していただくことを推奨しています。入学時に持参可能な情報端末（ノートパソコン、タブレット端末）を保有していない場合には、下記のリンクから、推奨モデルを参照いただき、ご用意ください。

なお、１年後期以降、学修分野によって高い処理能力を必要とするソフトウェアを使用する場合があります（例：建築用のＣＡＤ、映像制作や画像処理のソフトウェア）。その際には、ご自身の学修分野や情報端末の使用状況を勘案し、情報端末の購入をご検討ください。ご購入にあたっては、**【履修モデル】**を参考にして、希望する進路の学習にあわせて、必要なスペックを確認してください。機種や仕様に迷う場合、入学後、志望する学修分野の担当教員にお尋ねください。

【入学時に必要となる情報端末のスペック】

形状	ノートパソコン　もしくは　タブレット端末
条件	Microsoft 365（WordやExcel）のアプリケーションが動作すること
備考	物理キーボードが使用できること

【留意事項】

本学では Microsoft365（Word、Excel、PowerPoint 等）のライセンスを在学中に限り無償提供しているため、別途購入する必要はありません。

【履修モデル・必要なスペック】

デザイン学部の履修モデル、必要とされる情報端末のスペックについては、以下のＵＲＬまたはＱＲコードから参考資料（ＰＤＦファイル）をご参照ください。

https://www.suac.ac.jp/suacbyod/

購入後のセットアップについて

ノートパソコンやタブレットを購入後に必ず一度起動し、初期不良（例：電源が入らない、ディスプレイが映らない、キーボードが反応しない等）が無いかをご確認ください。なお、新しく購入された場合には必ずセットアップ作業を行い、アカウント作成などの初期設定をして、PC を利用できる状態にしてください。

（３）購入時の留意事項

・在学中は全ての学生に Microsoft365 のライセンスが付与されるため、個人でオフィスソフト（ワード、エクセル、パワーポイント等）を購入する必要はありません。

・タブレット端末の場合、文字入力が可能な物理キーボードをあわせてご用意ください。

（４）購入方法

情報端末の購入方法は問いませんので、本学生協、量販店、EC サイトをご利用ください。このうち、本学生協では、推奨仕様を満たす情報端末を販売しており※、入学前からご購入頂けます。本学生協で情報端末を購入する場合、故障に対する保障や修理中の代替機の貸出等のサポートを受けることができます。詳しくは合格発表後に本学生協から発送される資料をご確認ください。

※入学前は店舗ではなく、通信販売での対応となります。

静岡文化芸術大学生活協同組合　053-453-5702（平日 10：00～17：00）

３　情報端末の使用について

・情報端末を終日使用することができるよう、自宅等で充電し、ご持参ください（学生ラウンジや図書館・情報センター等に充電しながら利用できる場所がありますが、数に限りがあります）。

・学内では、各教室、ラウンジ、図書館・情報センター等に無線 LAN が用意されており、入学日以降に使用することができます。使用方法は、入学後のガイダンスにてお伝えします。

・学内には、学生が使用できるプリンターが用意されています。

４　ご相談・支援について

（１）身体の障害により情報端末の使用が困難な場合

身体の障害により情報端末の操作が困難であり、その学生が授業上の配慮を希望する場合、所定の手続き（障害学生修学支援申請）により授業における配慮を求めることができます。希望する場合、教務・学生室 学生支援係にご相談ください。

（２）情報端末の使用に関する相談窓口

授業における情報端末やソフトウェアの基本操作は、各科目の担当教員にお尋ねください。この他、情報端末やネットワークシステムの使用に関して不明な点がある場合、相談内容に応じて相談窓口にお尋ねください。なお、情報端末やＯＳの不具合・故障については、大学ではサポートできません。購入先等にてご相談してください。

相談内容	相談窓口	
情報端末の推奨仕様に関すること	情報室 情報係	電話：053-457-6126 メール：jouho-t@suac.ac.jp
SUAC-Net のアカウントに関すること		
Microsoft365 に関すること		
WEB ポータル及び SUAC Manaba に関すること	教務学生室 教務係	電話：053-457-6114 メール：kyogaku@suac.ac.jp
身体の障害により情報端末の使用が困難な場合の学習支援に関すること	教務学生室 学生支援係	電話：053-457-6121 メール：gakusei@suac.ac.jp

情報端末の必携化に関するＱ＆Ａ

＜情報端末の用意について＞

Ｑ：情報端末はいつまでに用意をすればよいのですか。

情報端末は、授業のほか、ガイダンスや履修登録等においても使用する機会があります。情報端末は、可能な限り入学式の日（４月６日）までにご用意頂き、難しい場合には前期通常授業の開始日（４月 13 日）までにご用意ください。

Ｑ：授業開始の日までに情報端末を用意することができません。どうすればいいですか。

推奨仕様を満たさなくとも、何らかの情報端末（ノートパソコン、タブレット端末）が用意できる場合には、そちらをご用意ください。それでも、情報端末のご用意が難しい場合、情報端末を使用する回の授業において、担当教員にそのことをお申し出ください。

Ｑ：既に情報端末をもっていますが、推奨仕様を満たしません。新しく購入する必要はありますか。

既に持参可能な情報端末（ノートパソコン、タブレット端末）を保有している場合、その端末が推奨仕様を満たしていなくても、そのままお使い頂いて構いません。ただし、情報端末によっては、ソフトウェアが動作しない、一部の授業が受講できない等、不都合が生じることがありますので、入学後、必要に応じて買い替えをご判断ください。

Ｑ：文化政策学部に入学しますが、パソコンを購入する場合、ＯＳは Windows と Mac どちらがよいのですか。

推奨仕様を満たすのであれば、どちらのＯＳでも構いません。なお、文化政策学部におけるパソコンの所有率は、Windows 89%、MacOS 11%となっています（必携化前の 2022 年７月時点の学内調査より）。

Ｑ：オフィスソフトは必要ですか。

在学中は全ての学生に Microsoft365 のライセンスが付与されるため、個人でオフィスソフト（ワード、エクセル、パワーポイント等）を購入する必要はありません。既にオフィスソフトが付属した情報端末をお持ちの場合、付属していても支障はありません。

Ｑ： Apple 社製の情報端末を入学前に学生割引で購入することはできますか。

本学生協では、Apple 社製の情報端末を学生・教職員価格で購入することができます。EC サイトや量販店等で購入する場合には、販売店に直接お問い合わせください。なお、入学日よりも前に合格通知書以外の証明書類（学生証も含む）を発行することはできません。

Ｑ：タブレット端末用のキーボードは純正品ではないといけませんか。

必ずしも純正品を用意する必要はありません。ただし、純正品でない場合は動作保証を確認できる製品の購入をご検討ください。

Ｑ：プリンターも購入した方がよいのですか。

入学時においてプリンターをご購入頂く必要はありません。入学後、ご自身の使用状況を見ながら、必要に応じて購入をご検討ください。なお、学内には、学生が使用できるプリンターが用意されています。

＜情報端末の使用について＞

Q：情報端末は何のために使いますか。

情報端末は、遠隔授業の受講に必要となるほか、対面授業の中でも使用することがあります。また、多くの科目では、授業前後の予習・復習、レポートの作成、課題の制作等で使用します。この他に、学期当初の履修登録や課外活動等でも使用する機会があります。

Q：情報端末をあまり使用したことがなく、使いこなせるか不安です。

本学では、コンピュータやネットワークをテーマとした科目を複数用意しており、レベルや目的に応じた学修が可能です。このうち、１年前期に開講する「ICT スキル基礎」では、情報端末やインターネットを安全かつ有意義に活用するための知識や、文書作成・表計算の基本的な操作等を学ぶことができます。コンピュータやネットワークに苦手意識のある方は、この科目を是非履修してください。

Q：情報端末はいつ大学に持参すればよいのですか。

入学後、履修登録期間に履修する科目を選択することになります。履修する科目毎に情報端末の使用の有無や使用方法は異なります。各科目のシラバスをご参照頂くとともに、授業内での教員からの指示をご確認ください。

各科目のシラバス

https://cpportal.suac.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_Syllabus

Q：学内に充電する場所はありますか。

ラウンジ、図書館・情報センター等に充電できる場所があります。ただし、充電できる場所に限りがあるため、毎日、自宅において情報端末を充電した上で、ご持参ください。

Q：インターネット回線を用意する必要はありますか。

学内では、各教室、ラウンジ、図書館・情報センター等に無線 LAN が用意されており、入学日以降に使用することができます。自宅でのインターネット環境の用意は任意ですが、帰宅後の学習や遠隔授業の受講のため、用意されることをお勧めします。

Q：情報端末を持参し忘れた場合、どうすればよいのですか。

情報端末を使用する授業の受講において、ご自身の情報端末が使用できない場合、授業の前後に担当教員にお申し出ください。授業外において、図書館・情報センターの情報端末を使用することができます（ただし、館外への持ち出しは不可）。

Q：所有する情報端末が故障した場合、どうすればよいのですか。

授業に関しては、前設問の回答と同じように対処してください。なお、本学生協で情報端末を購入した場合、修理の間、代替機を借りられる場合があります（ただし、台数に限りがあります）。詳しくは本学生協にお尋ねください。

静岡文化芸術大学生活協同組合　053-453-5702（平日 10：00～17：00）